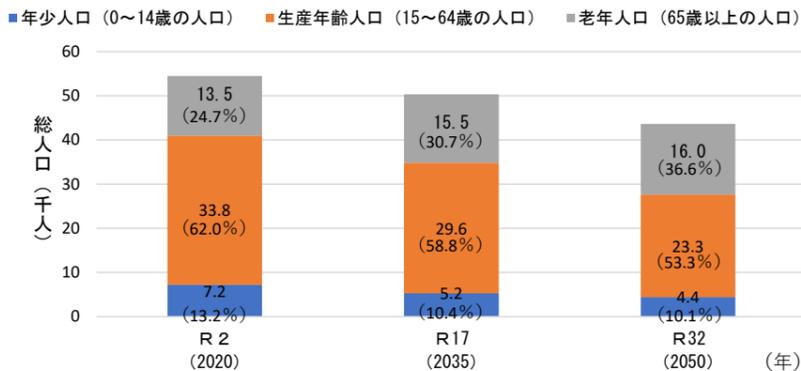


## 1. 現状と課題

### (1)人口動向

本市の総人口は、減少傾向にあり、少子高齢化が進行しています。将来人口を見ても、**更に少子高齢化が進む**ことが予測されます。



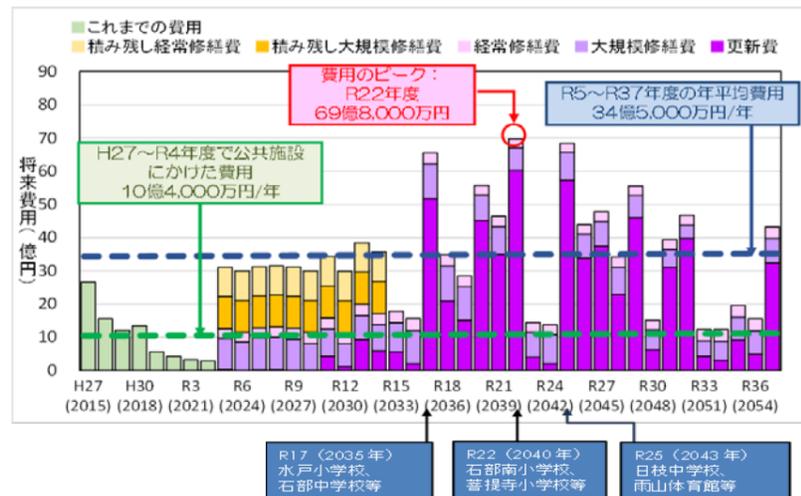
### (2)財政の状況

本市の財政状況は、歳入額、歳出額ともに増加しており、特に歳出に占める**扶助費の割合が年々増大**しております。



### (3)公共施設の将来費用

本市では 136 施設 471 棟の公共施設を保有しています。建設後 30 年以上経過している施設が全体の約 63.3%を占めており、将来必要な費用は、**年あたり 34 億 5,000 万円**が必要となり、これまで掛けてきた費用の約 3.3 倍の費用が必要となります。



## 2. 計画の位置づけ等

### (1)計画の理念・目的

湖南省公共施設等総合管理計画は、白書で抽出した公共施設等における現状の課題や取組みの方向性を踏まえて、**本市の身の丈に合った施設再編の方向性を示す**ことを目的に策定しました。

### (2)計画の位置づけ

上位計画である**第二次総合計画**における「**第6章 明日を拓くくみをつくろう**」の取組みの一つとして位置付けられています。平成 26 年 4 月に総務省から、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画として、公共施設等総合管理計画の策定要請があり、本市では国の動きと歩調を合わせるものです。

### (3)計画期間および対象施設

計画期間は 30 年間とし、対象施設は公共施設（ハコモノ施設）のみならず、道路や橋梁などのインフラ施設も対象とします。

## 3. 基本方針

### (1)公共施設等に対する課題・問題点と必要な取組み

公共施設等の必要性、継続性、効率性の 3 つの視点から課題や必要な取組みについて抽出します。

- 必要性の視点**…人口構成の変化等による公共施設に対する市民ニーズの変化を踏まえ、本当に必要な公共サービスを仕分ける必要があります。
- 継続性の視点**…公共施設等の老朽化対策や耐震化対策が必要であり、既存施設の計画的な保全や長寿命化等により、施設の安全性を確保しつつ公共サービスを継続的に提供する必要があります。
- 効率性の視点**…公共施設のうち、コスト効率や利用状況の悪い施設に対して管理運営手法の見直しを行う必要があります。

### (2)公共施設等のマネジメントに関する基本方針

公共施設等のマネジメントに関する基本方針として、**全庁的な視点からの施設の最適化や、財政計画と連携した施設長期保全計画の策定、施設管理・運営の効率化や利用促進施策の検討**、広域連携による施設利用の検討などの方針や、資産の有効活用に向けた取組みや、議会や住民との情報共有・市民参画、新公会計制度への対応についての基本方針を策定しました。

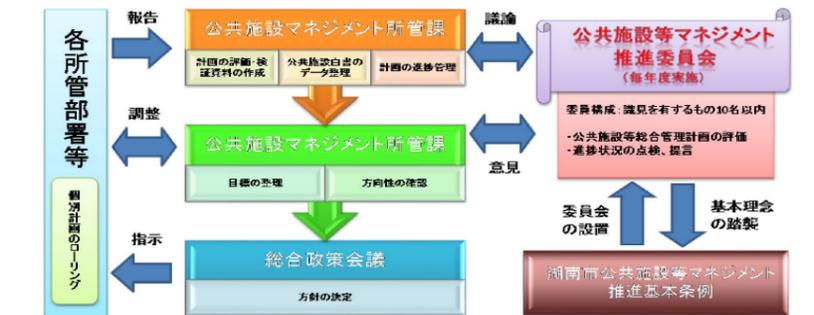
### (3)公共施設等の長寿命化に関する基本方針

公共施設等を安全に長期にわたって利用できるようにするための方針として、施設の点検・診断等や維持管理・修繕・更新等、耐震化やバリアフリー化による安全確保や利便性向上の方針、新規施設整備や、災害に対する施設の防災性向上のための施設整備、「**第二次湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン**」に基づくエネルギー対策の実施方針を策定しました。

## 4. 公共施設等マネジメントの取組み方針

### (1)組織体制

平成 27 年 6 月に制定された「**公共施設等マネジメント推進基本条例**」に示されている公共施設等マネジメントの理念を踏襲し、マネジメントの実践に向けた検討を実施するとともに、適正管理に必要な民間を含めた体制構築を実施します。

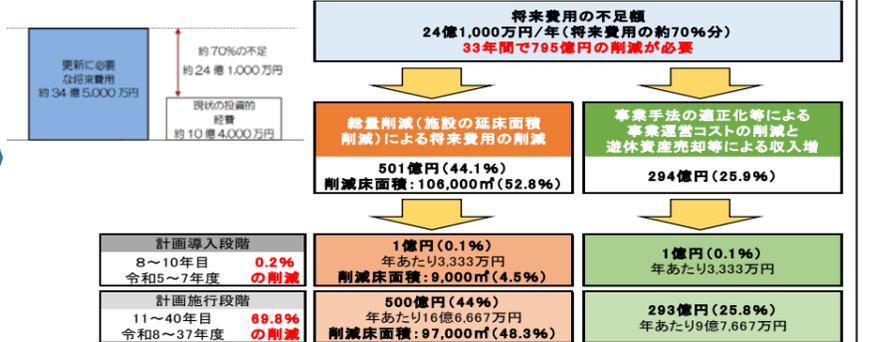


### (2)フォローアップ

本市では、PDCA サイクルによる計画実施内容の評価・検証、および進捗管理を行うと共に計画自体の精度向上を図ります。

### (3)基本目標

現状の施設を保有し続けた場合、**既存将来費用の約 70%分が不足**します。これを踏まえ、数値目標値を設定します。



## 5. 今後の対応に向けて

社会全体の価格上昇も相まって、公共施設の収支状況はますます悪化しています。今後、更なる効率化等による支出の抑制とともに、施設の複合化・統廃合等による利便性や機能性・魅力等の向上に伴う収益の増加、行財政の調整による投資的経費の増額等について、本計画の実施計画である「**湖南省公共施設等総合管理計画 個別施設計画**」と併せて検討を重ねていきます。